

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和2年3月

事業所名 かぶと虫Mark 児童発達支援・放課後等デイサービス

保護者等数（児童数） 13名 回収数 10 割合 76 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	2			ほかの施設と比べると広いと思う。仮眠スペースや落ち着けるためのスペースもあるので良いと思う。1~2人の利用なら狭くないが、小学生5人以上で運動となると狭いと思う。	国の設置基準により、指導訓練室は児童発達支援事業においては、児童一人当たり3㎡以上、放課後等デイサービス事業においては、児童一人当たり4㎡となっている。当事業所の指導訓練室は、54.43㎡のため、定員10名でも基準を満たしている。運動療育等は、スペースを考慮した上での療育を行なっている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2	8			もっと職員の数を増やしてほしい。何人のスタッフがいるかわからない。（保育園への送迎だと）基本的に親が職員に会えないのでよくわからない。配置数やどういった専門のスタッフが対応しているか不明。作業療法士がいると良い。	国の人員配置基準（営業時間中に常に児童指導員2名）は満たした上で、理学療法士等（保育士）も加配している。直接支援スタッフは、常時4~6名配置している。月に一回程度、言語聴覚士による観察、職員へのアドバイスなどを行なっている。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2			トイレも広く、扉もスライドなので、車いすでも利用可だと思う。	車いすの利用者を想定して設計している。
適切な支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	7	3				児童発達支援計画（個別支援計画）は、事前に保護者の方の意向、利用者の方のご希望（利用者の方によっては、保護者の方に代弁していただく方もいます）をお聞きした上で、支援目標や内容を検討し、作成後に保護者の方にご確認いただき、同意をいただいた上で決定している。
	5 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	5				設問4に同じ。 児童発達支援計画（個別支援計画）の書式は、児童発達支援ガイドラインに沿って作成しているため、計画作成においてもガイドラインに則した支援計画となっている。
	6 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	3			なぜ同じプログラムを何度もやるのか、などが明確になるとよい。	児童発達支援計画（個別支援計画）の短期目標に沿って、療育内容を実施している。プログラムについては、利用者の方の特性に合わせて、ルーティン化することや見通しが立ちやすくするために、基本的に同じ流れで、療育を実施している。保護者の方によりわかりやすく説明できる仕組みを作っていきたい。
	7 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	6	4			子どもにとっては気に入っていることもあり、それができないことの方がいきしりの原因になっている。	利用者の要望、個別の課題等、バランスを取りながら、できる限り利用者の方が楽しんで取り組めるよう、療育内容を検討していきたい。
	8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	5		他施設との交流は聞いたことがないが、イベントで外出した時は、交流できる機会はあると思う。	2時間の療育の中で、交流する機会を作るのは、現状難しい。限られた時間の中でできる方法はないか、今後検討していきたい。
保護者への 説明等	9 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10					契約時に説明している。
	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	8	1	1			今後とも利用者の方が分かりやすい支援内容の説明ができるよう尽くしていく。
	11 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	2	4	4		保護者に対しての学習会（特にペアレントトレーニング）をしてくれる場所が遠く、限られているので、行なってほしい。一緒に親も参加できる日があると良い。	保護者の方を対象にした学習会の機会などを検討していきたい。保護者参加型の行事は来年度予定している。
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4	6			送迎時にその日の様子が書かれた書面（連絡帳）がもらえるので助かる。直接会って話をする機会がほとんどないので、不安なところはある。TELできると良い。短い時間でも年に数回でもそういった情報を交換する機会があると良い。	連絡帳を通じて、ご家庭の様子や事業所での様子などを情報共有できるように努めているが、今後個人面談や保護者会等を実施し、利用者の方の支援について更なる連携が図れるよう努めていきたい。

保護者への説明等	13	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	4	3	他施設では年2回の個人面談があったが、こちらの施設では個人面談がないので、日々の活動や情報を知る上では足りない気がする。	設問12に同じ
	14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	5	1	短い時間でも年に数回でもそういった情報を交換する機会があればありがたい。年数回のおはなし会に参加しないと、ほかの保護者に会う機会がないので、交流がない。父母会がないのでわからない。	2月に保護者会を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、実施できていない。今後実施を検討していく。
	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	2		相談を聞き入れようとする姿勢はある。	
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	2	1		
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9		1	定期的にかぶと虫日記があり、毎回楽しみにしている。アドバイスなど参考になる。	会報の内容については、更なる内容の充実が図れるよう検討していきたい。
	18	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10			HPの写真も個人が特定されないように配慮されているので安心できる。	HPなどに掲載する画像などについては、加工するなどして配慮している。
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	6	4		防犯マニュアル、感染症マニュアルについては、聞いたことがないのであるのかわからない。実施しているのかわからないが、周知、説明はあった。	各マニュアルは策定されているが、保護者への周知はしていない。今後、必要性も含めて検討していく。
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	5	2	避難訓練の日に通所していないと体験できないので何とも言えない。非常時の対応については連絡が来ているが、訓練が行われているかは不明。	年2回の避難訓練を実施。今年度については、9月に実施しており、3月にも実施予定。
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	8	1	1	毎回楽しみにしている。イベントがある日もあり、いろいろな体験をさせていただき、ありがとうございます。勉強は少しずつの方が良い。毎回行き渋っているので、前向きにさせるのに苦労しています。	
	22	事業所の支援に満足しているか	5	5		職員の数を増やすなどしてもっと利用できる日を増やしてほしい。近くにこのような施設ができ、受け入れてくださり、ありがたく思う。これからもよろしく願います。これからは期待している。子どもが通っている保育園からも少し成果が感じられると聞いている。送迎など、とてもありがたく思っている。本人も楽しそうに通っている。子どもに対してはほぼ満足しているが、保護者支援はできていない。	

総評

全般的にコミュニケーション不足を感じている利用者の方の意見が多かったように感じる。2月に予定していた保護者会も延期となってしまったため、定期的な保護者会の開催や保護者の方が参加できるイベント、学習会などの機会を増やしていけると良いと思う。一方でお子様方の満足度は高かったため、引き続き飽きずに楽しんでもらえるような療育内容を工夫していく必要がある。

\*3「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。